

パネル据付説明書

PJF012D032

室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。

警告

- 配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。



機能名称について

機能の名称の意味は下記のとおりです。

- エアフレックス : ドラフト防止機能
- ラクリーナ : エアフィルタ自動昇降機能

お願い <ラクリーナパネルの場合>

- ・吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
- ・電源投入前にパネルを取付けた場合は吸込グリルの昇降動作はできません。
- ・電源投入前に吸込グリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定する事ができます。
- ・電源投入後は付属のクランプを外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
- ・吸込グリル取付け後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、吸込グリルを正規位置に収納してください。
(マイコンが収納位置を記憶します。)
- ・ワイヤは、折り曲げ、ねじり、噛み込み等により傷ついたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

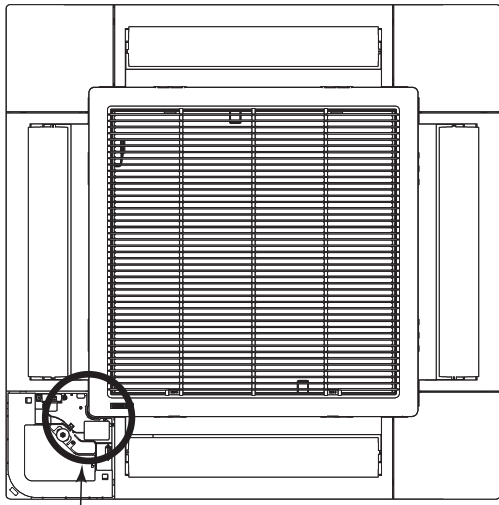
① 据付けの前に

- ・据付けはこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・次の項目を確認してください。
 - パネル・リモコンのタイプ
 - 付属品

付属品

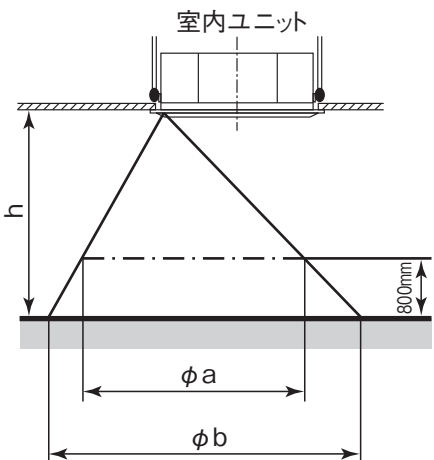
ボルト		4本	パネル取付け用
ストラップ		4本	コーナリッド落下防止用
クランプ		4本	吸込グリル仮止め用 (ラクリーナパネル)
ねじ		4本	コーナリッド固定用*1

注1: *1 ラクリーナパネルの場合、吸込グリル仮止めクランプ固定用にも使用します。
注2: 付属品はコーナリッドを外した位置にあります。



付属品収納位置

人感センサ検知範囲の目安 <エアフレックスパネル、ラクリーナパネル>



天井高さ	h [m]	2.7	3.5	4.0
検知範囲①	φa [m]	約4.5	約6.4	約7.6
検知範囲②	φb [m]	約6.4	約8.3	約9.5

② 室内ユニットの取付けレベルの確認

- ・室内ユニットの据付説明書と共にお読みください。
- ・室内ユニットに付属されているレベルゲージで室内ユニット高さ及び天井開口寸法が正しいことを確認してください。
- ・室内ユニットと天井材との取付けレベルを確認してください。
- ・室内ユニット付属のレベルゲージを吹出口にセットし、室内ユニットの吊込み高さを調整してください。
- ・レベルゲージはパネル取付け前に取外してください。

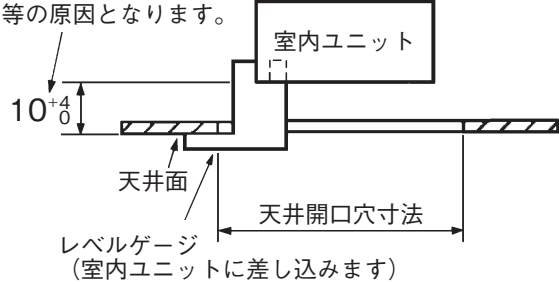
ご注意

室内ユニットと天井材との高さは、パネル取付けの際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

- ・室内ユニットの取付け高さはパネル取付け後、コーナ開口部より微調整ができます。

(詳細は ⑥パネルの取付け をご参照ください。)

必ず10~14の範囲内とすること。
この範囲が守れない場合、
故障等の原因となります。

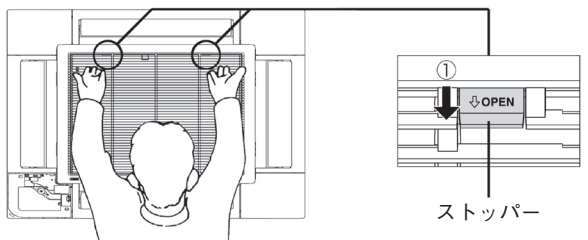


③ 吸込グリルの取外し

<標準パネル、エアフレックスパネルの場合>

1. 吸込グリルのストッパー(2ヶ所)に指をかけて「OPEN」の方向(矢印①)に押したまま吸込グリルを下方へ引くと吸込グリルが開きます。
2. 吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部をパネルから外します。

(取外し)



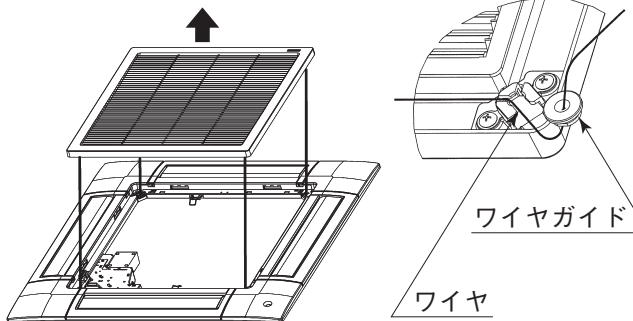
ストッパー

<ラクリーナパネルの場合>

1. 吸込グリルを少し持ち上げて、吸込グリルを開けます。
2. 吸込グリルの4コーナに取付けてあるワイヤガイドを外側にスライドさせて外してください。

ご注意

吸込グリルはゆっくり持ち上げてください。
ワイヤおよびワイヤガイドが破損する恐れがあります。

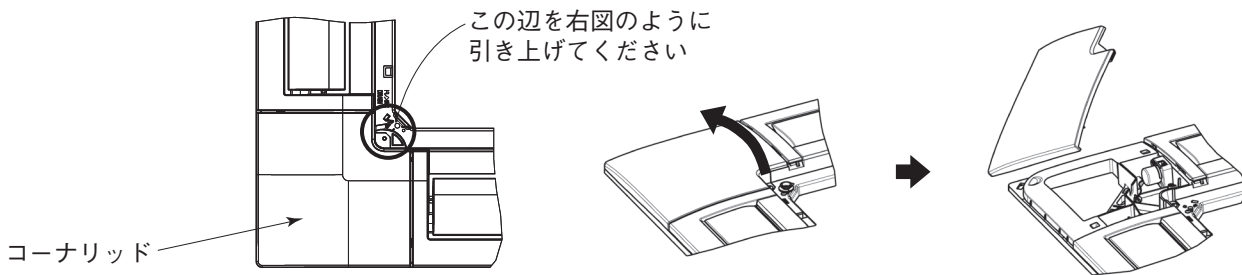


ワイヤガイド

ワイヤ

④ コーナリッドの取外し

- ・コーナリッドを矢印の方向へ引き上げて取外してください。(4コーナとも)



コーナリッド

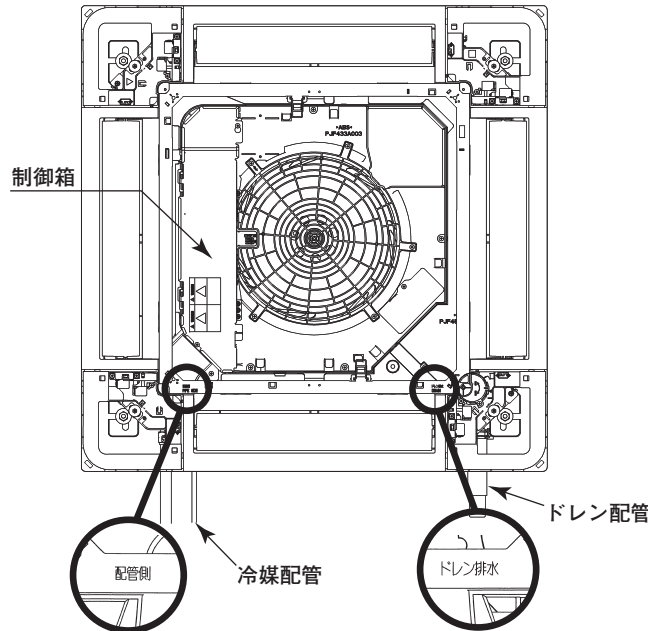
この辺を右図のように
引き上げてください

⑤ パネルの取付け方向

- ・パネルの取付け方向は室内ユニットに対し方向性があります。
- ・パネルは、右図に示す方向で取付けてください。
- ・パネル吸込部の「ドレン排水」と室内ユニットのドレン配管の位置を合わせてください。
- ・パネル吸込部の「配管側」と室内ユニットの冷媒配管の位置を合わせてください。

ご注意

- ・右図以外の方向で取付けると、風漏れの原因となり、また電気配線の接続ができません。



制御箱

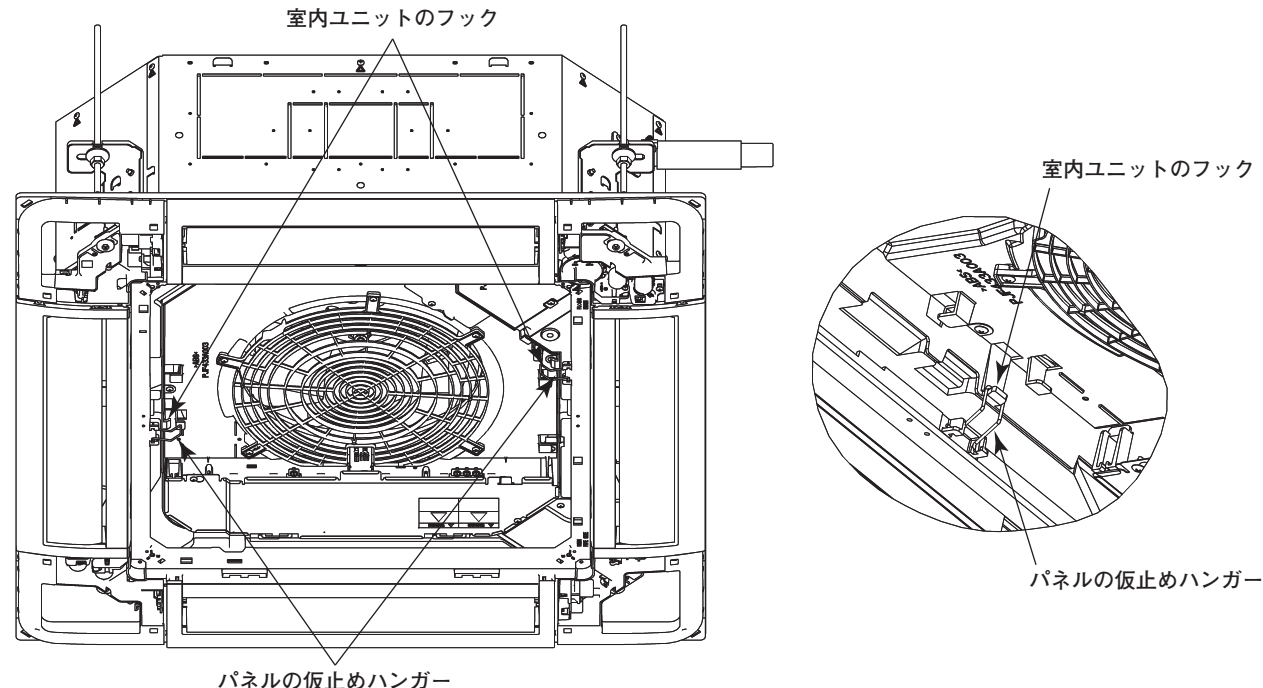
ドレン配管

ドレン排水

配管側

⑥ パネルの取付け

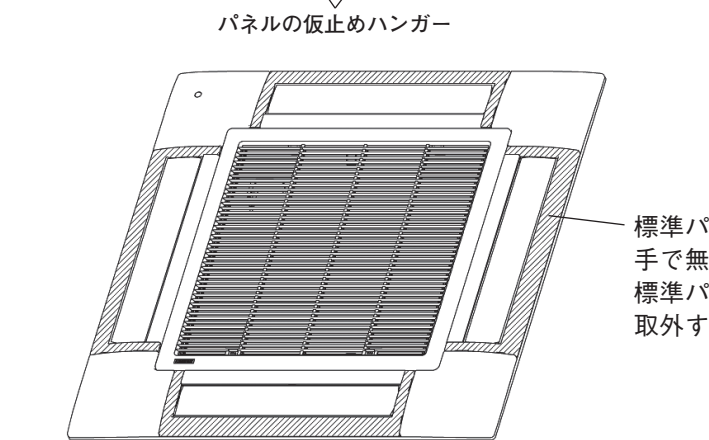
1. パネルの仮止め
 - ・パネルの仮止め用ハンガーを起こします。(2ヶ所)
 - ・パネルの仮止め用ハンガーを室内ユニットのフックにかけて、パネルを室内ユニットに吊るします。



室内ユニットのフック

室内ユニットのフック

パネルの仮止めハンガー



標準パネル以外の場合、斜線部(4ヶ所)は可動します。
手で無理に動かすと破損します。
標準パネルの場合もパネル本体とは別部品ですが、
取外すことはできません。

ご注意

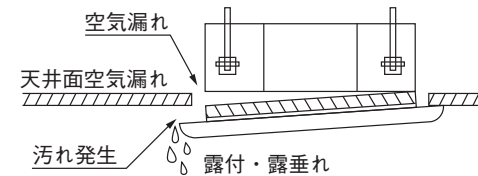
- ・パネルの吹出口周囲のエアフレックス(斜線部)は別部品です。パネルを持つ際は取扱いに注意してください。
特に、エアフレックスパネル、ラクリーナパネルの斜線部は可動します。手で無理に動かすと破損します。

2. パネルの室内ユニットへの固定

- ・付属のパネル取付け用ボルト4本を用いて、室内ユニットに締め付けてください。

ご注意

- ・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。
- ・吊りボルトを締め込んでも天井面とパネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニットの高さを再調整してください。

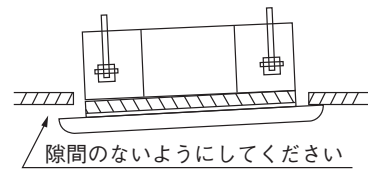


空気漏れ

天井面空気漏れ

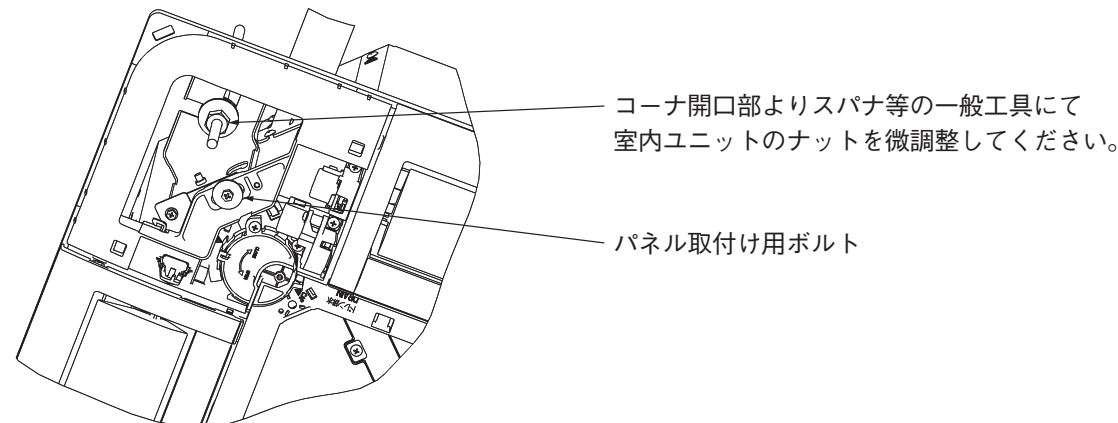
汚れ発生

露付・露垂れ



隙間のないようにしてください

- ・室内ユニットの水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であればパネルを取付けたまま、室内ユニットの据付け高さを微調整できます。



コーナ開口部よりスパナ等の一般工具にて
室内ユニットのナットを微調整してください。

パネル取付け用ボルト

ご注意

- ・パネル取付けの際、パネルに無理な荷重がかからないよう、室内ユニット据付け高さを調整してください。
パネルが変形し、吸込グリル、エアフレックス部品が収まらないおそれがあります。

